

# 大阪損保革新懇ニュース

NO. 90  
2008・1・1

大阪損保革新懇事務局  
大阪市中央区道修町三の三の十  
大阪屋道修町ビル3F 〇六〔六三三二〕〇九五

## 二〇〇八年激動の幕開け！

### 国政・府政の流れ変え、人間らしい職場をめざし今年もがんばろう

大阪損保革新懇会員のみなさん、職場の仲間のみなさん、家族のみなさん、全国の仲間のみなさん！  
二〇〇八年が幕開けしました。新年も国政をめぐる激変・激動の情勢が続いています。昨年夏の参議院選挙の結果、新しい政治の中身と方向を求める新しい時代が始まりました。

年末に福田内閣は新テロ特措法を成立させるために国会会期を再延長しました。今までの国会審議の中でテロ法案がテロ防止やアフガニスタンの国民の生活や平和のために役立つものではなく、アメリカの報復戦争に加担・支援するものであることが明らかになりました。新テロ法案に対して国民の過半数は反対の態度を示しています。私たちも反対です。新テロ特措法の参院での否決、衆議院での再議決と問責決議をめぐって緊張が続いています。そう遠くない時期に解散・総選挙も予測されています。今年も年明け早々から激動の情勢です。

いま、国会に求められていることは先の参議院選挙で示された国民の民意にどう向き合うか、どう応えるかということ。福田内閣が最優先に取り組むべき仕事は格差と貧困をなくす政策です。私たちは国民が主人公の新しい政治経済路線実現のために引き続き奮闘しあおうではありませんか。

大阪府知事選挙の投票が一月二七日におこなわれます。先の大阪市長選挙では四四年にわたるオール与党体制に市民の批判が寄せられました。大阪府政も永年オール与党体制が続きました。大阪府政でも府民が主人公の府政実現が問われています。私たちも府民の暮らし、福祉最優先の政策を掲げる梅田候補のもとで元気な大阪実現のため多くの仲間が奮闘されるよう呼びかけます。

いま、世界は大きく変わりつつあり、変革のうねりが高まっています。「九条の会」が全国で六八〇〇を超え、「米軍再編」の名による基地強化に反対する闘いが各地で高まっています。私たちも参加した全国革新懇の全国交流会も過去最高の参加者でした。闘えば政治が動く、国民の声で政治が動くという新しい情勢が展開している時代です。革新三目標を掲げる革新懇運動がいよいよ真価を発揮する時代です。革新懇出番の時代です。今秋十月十七日(金)、結成九十周年総会に『品川講演』が決まりました。これからの一年、みんなで奮闘しましょう。

### 私たちは日本興亜損保の パワーハラスメントを許しません！

#### —— 本社前で大多数の社員がビラを受取る ——

十二月十七日(月)「田崎博美さんとともにたたかう会」十八名の東京団は、霞ヶ関の日本興亜損保本社前で早朝七時四十分からマイク宣伝とビラ配布を行いました。

「私たちは日本興亜損保のパワーハラスメントを許しません」の大きな横断幕を掲げて、四名のマイク宣伝隊が声を響かせ在京の日本興亜のOB男性も支援にかけつけ出勤する社員に配布し、当日は本部長会議が開かれた模様で役員も含めて九〇%以上が快くビラを受取って入っていました。十時から、十二時前からは本社付近の溜池山王と特許庁前の交差点で在京の朝日OB男性と損保ジャパンOB女性も加わり通行人に宣伝しビラを配布しました。首相官邸付近のためか警察官が角毎に立っていましたが妨害もなく黙って見ていました。

朝から昼すぎまで元気よく一〇〇枚以上のビラを配布することができ大きな成功をおさめました。

午後からは、日動外勤のたたかいの東京高裁の傍聴と丸の内の東京海上日動本社前抗議要請行動に上京団全員が参加し座り込み抗議をしました。そして元気に帰阪しました。

12月17日 日本興亜損保本社前





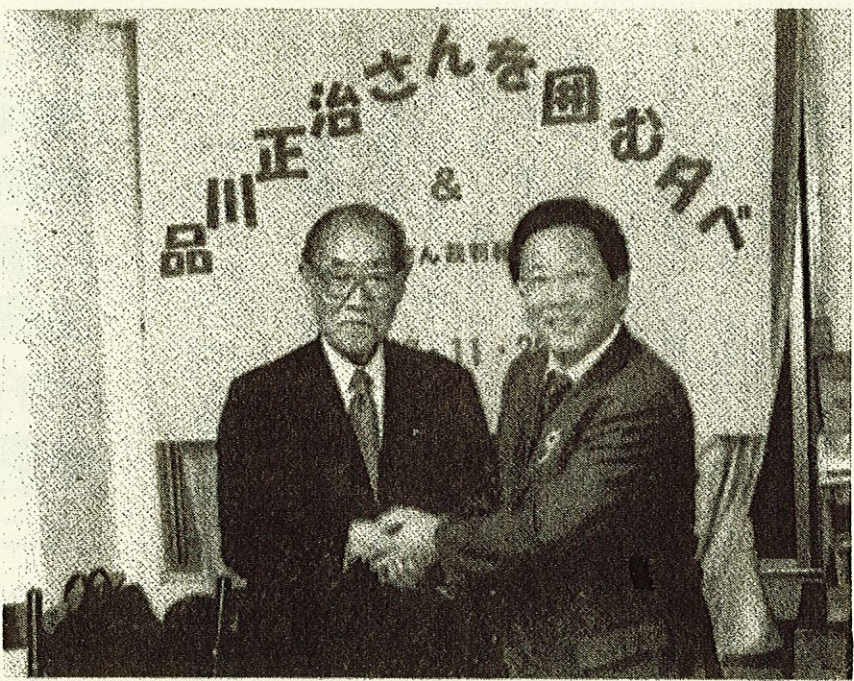
# 「品川さんを囲む夕べ」賑うー！ 大阪府知事候補梅田章二さんも出席

十一月二十六日（月）経済同友会・終身幹事の品川正治さんを招いて、第三回目の「品川正治さんを囲む夕べ」をアイクルの部屋で開催しました。当日は、田崎博美さんの第十三回目の裁判があり報告集会も兼ねました。野村代表世話人が乾杯し、徳井義幸弁護士、大阪府知事候補の梅田章二さんも出席、鯛を囲んで部屋満杯の五八名の大盛況の集いでした。集いで品川正治さんの挨拶・近況報告（要旨）を紹介します。

八二歳の時、歳の数だけ全国行脚するという目標をたて、今月が十一回。八三歳を迎えて減るどころではなく病気になる暇もない（笑い）。内心家族にも感謝しています。全国革新懇の代表世話人を引き受けたのも殺し文句として「どこに行っても損保の仲間がいる」があったからです。来年5月に世界9条の会が開かれますが、よびかけ人の一人として成功させたいと思っています。

政治情勢は複雑ですが、党首会談の「大連立」という火種は最後まで燻るだろうし、よじれは変わりません。小沢さん自身は「俺が入らない限り憲法改正はできない」という態度です。早急に運ばないのは、参議院選で民主党の小選挙区で立った新人の七割は護憲派で民主党自身が変わらざるを得ないからです。参議院選挙は自・公の横暴、強行採決は許さないとして国民が主権を發動したもの。次の国会で憲法が重要論議となるでしょう。

日本の憲法9条は国連よりも一歩先んじています。国連は戦争を想定しています。憲法9条は極めて珍しく戦争というのを国家の目で見ないで、人間の目で見るといえるものです。戦争をしないのが憲法9条で、誰が何と言おうと人



品川正治さんと握手する梅田章二さん  
(11/26 アイクルの部屋にて)

を殺してはいけない。戦争というのは殺すのが目的ですからテロとの戦争という言葉は絶対過ちです。私はそう主張し一歩も譲っていません。憲法はアジア人二〇〇〇万人を殺し、原爆で二〇万人を一瞬にして殺した悲惨さに対する反省によって作られたものです。

数百万に及ぶ日本の兵隊は当時は厚生省の管轄でした。日本国憲法が論議された時には軍がなかった。神様のいたずらか偶然か、とにかくとんでもない幸せな憲法をつくることができずしました。よその国ではつくれません。それほど前にすすんだ憲法はありません。もし日本が離れてしまつたら地球上からこの観念が消えてしまいます。日本の憲法はますます光輝きだしたと国際的にもいえます。Gパックスの会合は必ず最初に憲法九条を朗読してから始まります。戦争というのも人間の目で見たらすべきでないというのがどんどん伝わりだした。

私は国際開発センターの会長をしています。研究員や社員はアフリカ、カリブ海諸国、東南アジア、中国にいます。特にアフリカの場合はアメリカなんかとぶつかるわけです。アメリカの子どもとアフリカの子ども、イラクの子どもも命の価値は一緒ですというのが日本の姿勢です。日本の外務省は違います。安保常任理事国に立候補して以来、何票とれるかという考え方で私なんかと真っ向から対決します。アメリカのやり方はどちらが「正義」かと勝手に判断して「正義」の方を助けます。正義であろうと親や子どもが殺されたりすることは人間として許せません。私の講演の基本は「戦争・人間・そして憲法九条」という題です。戦争をおこすのも人間でそれを止める努力をするのも人間というのが私の哲学です。戦争を国家の目で見ると人間の目で見ると、その争いがこれからはっきりしてきます。日本の憲法の理念を尊重しどう外交をすすめていくかです。私は経済人ですから、教育・医療・環境とか福祉を市場にまかせてはならないということも主張していきたいと考えています。こうした人間の努力の先頭にたつのが政治です。来年の世界九条会議で議題にして討論しようかと今進めています。

「九条世」界外会議」—— 関西

日時 二〇〇八年五月六日（火・祝）午前十時～午後四時

会場 舞洲アリーナ

主催 「九条世界会議」関西実行委員会